

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904010

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費:2,150千円 計画内容:負担金及び冬季就労対策事業
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	4 勤労者の就労環境の向上	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	勤労者雇用促進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	通年雇用の促進及び冬季就労者の雇用		#N/A	
事業目標	通年雇用者5人及び冬季就労人員20人	ハート/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 地域雇用開発促進法	
住民協働		関係個別計画名	2 通年雇用促進支援事業計画	

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	西紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担 冬季就労対策事業	紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円  冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円  冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円  冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円  冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円  冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	
	事業費(千円)	10,750	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,750	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	
実績事業費	事業費(千円)	8,990	2,118	1,206	1,394	2,094	2,178
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	8,990	2,118	1,206	1,394	2,094	2,178	
関連事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 ・通年雇用 新規1名 継続2名 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人数 15名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 13名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人
	年度達成率	99%	56%	65%	97%	101%	
	全体達成率	20%	31%	44%	63%	84%	
事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	勤労者雇用促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	冬期間失業となる労働者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	通年雇用者及び冬期間就労人口								
【抱える課題やニーズは】	通年雇用を確保できないことにより、生活基盤が不安定となり、消費活動が鈍化する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期失業者の解消	① 通年雇用化意識啓発セミナー参加者数(雄武会場1回実施)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	10人	実績値	10人	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	10人										
実績値	10人										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	通年雇用の実現によって生活基盤が安定し、それによる購買力向上が地域経済活性化をもたらす。	② 実績人数(冬期就労人員)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>15人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>15人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	15人	実績値	15人	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	15人										
実績値	15人										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	除排雪業務の委託	冬期間における歩道や公営住宅団地内通路の確保、防雪柵解体作業、除雪対策、保育所及び社会福祉施設、各バス待合室等の除排雪委託。									
	協議会への負担金支出	西紋地域5市町村により構成されている「西紋別地域通年雇用促進支援協議会」への負担金支出。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	除排雪作業等については対象が公共性の高い場所であることから、恒久的に必要である。また、通年雇用対策については、当町のみならず周辺市町村共通の課題であり、町単独では事業実施範囲が限定される可能性があることから、広域連携が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	平成24年度は降雪量が多く、除排雪作業等については、目標値を上回り、事業費を消化した。通年雇用対策についても、目標値を達成し、効果があったと判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	除排雪作業等については、公共工事に使用する労務単価を使用するなど、過剰なコスト算定は行われておらず効率的と判断する。また、通年雇用対策事業については、国・道からの委託料が主たる財源であり、総体事業費に対する市町村負担金は小額なことから、効率的であると考え。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

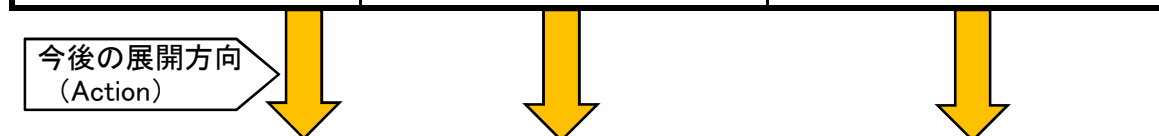
公平	判断の理由	セミナーの開催においては、広報・チラシ等で周知を行っており、冬期就労対策事業では、公共性の高い場所の除雪であることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
冬期就労対策になるのみならず、円滑な交通や安全性が確保されるため適当と判断する。通年雇用対策については情勢を考えて必要であると考え。		



継続/現状維持	事業所及び労働者の意識啓発を促すセミナーの参加促進を進めるとともに、就職促進に係る事業として職業相談・求人情報の支援など、協議会と連携して取り組む必要がある。除排雪作業等については、冬期間の労働確保のために必要であり、今後も支援することが必要である。
---------	---

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止